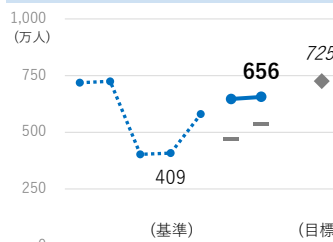


1 上田地域の魅力の向上と発信による人を惹きつける観光地域づくり



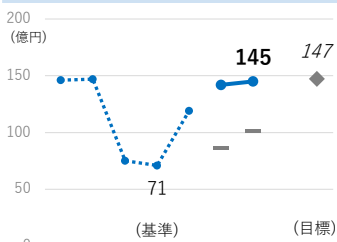
観光地延利用者数



出典：観光地利用者統計調査（観光スポーツ部）

A

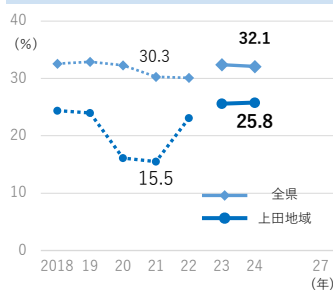
観光地消費額



出典：観光地利用者統計調査（観光スポーツ部）

A

(参考) 観光地延利用者に占める宿泊者の割合



出典：観光地利用者統計調査（観光スポーツ部）

道の駅 美ヶ原高原
観光キャンペーン

【取組の成果・課題と今後の方向性】

〔地域と一体となった観光需要の回復〕

・観光地延利用者数及び観光地消費額は、コロナ禍前の水準に回復しつつある。

・観光客等による道の駅の利用を促進するため、「道の駅 美ヶ原高原」を会場とした観光キャンペーンを開催し、観光地や特産品等のPRを実施した。

・広域的な観光誘客に取り組むため、上小地域観光戦略会議を開催し、地域食材を活用した観光地域づくりに向けた生産者ツアーやサイクルイベント等を実施した。

・上田市稲倉の棚田の保全活動促進のため、棚田米・酒米オーナー制度や県内外の小中学生の農業体験等、参加型イベントの開催を支援した。

・2027年のDC（デスティネーションキャンペーン）に向けて、市町村や観光協会等と連携した観光イベントを実施する。

〔観光地の魅力を高めるインフラの整備〕

・湯の丸高地トレーニング施設へのアクセス道路や、菅平高原のランニングコースを兼ねた歩道等の整備を進めた。

関連実績

※()内は前年度

食の生産者ツアー
参加者数
21人 (-)

サイクルイベント
参加者数
39人 (-)

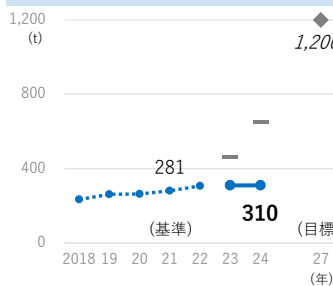
棚田米・酒米オーナー制度参加者数
239組 (175組)

農業体験参加者数
564人 (262人)

2 地域を支える産業のグレードアップ



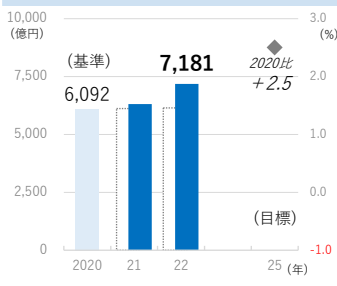
醸造用ぶどう収穫量



出典：特産果樹生産動態等調査（農林水産省）

C

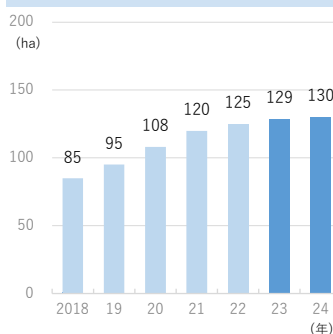
製造品出荷額等



出典：2020は経済センサス・活動調査(総務省・経済産業省)、2021・22は経済構造実態調査(総務省・経済産業省)

A

(参考) 醸造用ぶどう栽培面積



出典：特産果樹生産動態等調査（農林水産省）

醸造用ぶどう
生産者技術セミナー

【取組の成果・課題と今後の方向性】

〔持続可能な産業の実現に向けた取組〕

・製造品出荷額等は、半導体需要の高まりなどにより、順調に増加している。地域企業による、今後成長が期待される産業分野への展開や、生産性向上の取組への支援により、高付加価値産業を育成していく。

・地域の特性を生かして高い付加価値を創出し、地域事業者には相当の経済的効果がある地域経済牽引事業者を支援するため、第2期長野県上田地域基本計画に基づき事業を実施。課題である産業用地の確保について市町村と情報共有し、事業者のニーズに応じた産業用地の整備等を推進する。

〔世界基準を見据えたワイン産地づくり〕

・醸造用ぶどうは、栽培面積が拡大し収穫量増加が見込まれるが、収穫できるまでに5年程度要するため継続的に支援していく。

・醸造用ぶどう生産者等対象の生産者技術セミナーを開催した。管内新規参入者の多くは栽培技術向上の余地があるため、引き続き技術支援していく。

関連実績

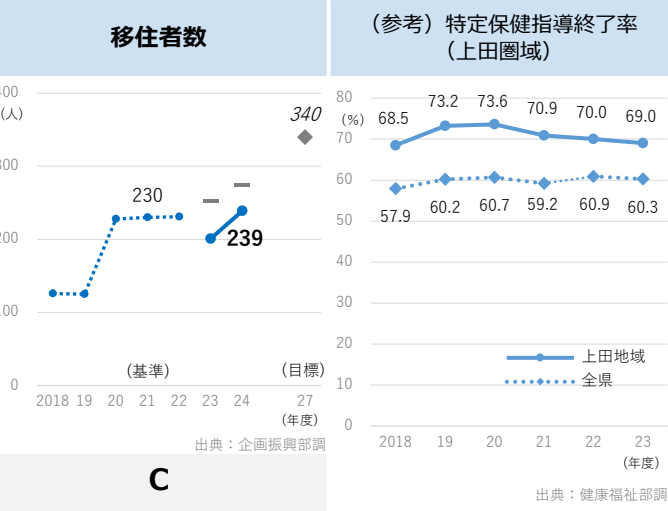
※()内は前年度

地域経済牽引事業
計画承認件数
5件 (2件)

産業用地取得件数
(1,000㎡以上)
5件 (4件)

醸造用ぶどう生産者技術セミナー参加者数
53人 (35人)

3 穏やかに暮らし続けられる地域づくり



【取組の成果・課題と今後の方向性】

〔道路網の整備、地域公共交通の充実、防災・減災の推進〕

- ・国道143号バイパス（青木峠トンネル）整備に向け、付帯工事となる村道付替工事に着手したほか、優先度の高い農業用ため池において地震・豪雨対策を実施した。

〔医療・福祉の充実、健康づくりの推進、子育て・子育て支援〕

- ・地域の健康づくり、生活習慣病予防推進のため、管内の保健師・管理栄養士等を対象に研修会や市町村担当者の情報交換会を開催し職員の資質向上を図った。

また、地域の運動教室等に対し講師派遣等の支援を実施した。

〔移住の促進、つながり人口の創出・拡大〕

- ・青木村における移住・定住を促進するためのイベントを開催。地域住民と移住者、移住希望者によるパネルディスカッションや移住相談会を実施したほか、移住者が中心となったマルシェを開き地域住民との交流を図った。
- ・上田地域への移住者数は、コロナ禍での地方移住への関心の高まりで2020年度から増加傾向にある。引き続き移住先として選ばれるよう取組を進めていく。

関連実績

※()内は前年度

ため池の地震・豪雨対策実施箇所数
9箇所 (10箇所)

管内保健関係者研修会実施回数
1回 (1回)

上小圏域担当者の情報交換会実施回数
2回 (0回)

運動教室へ講師派遣回数
2回 (5回)

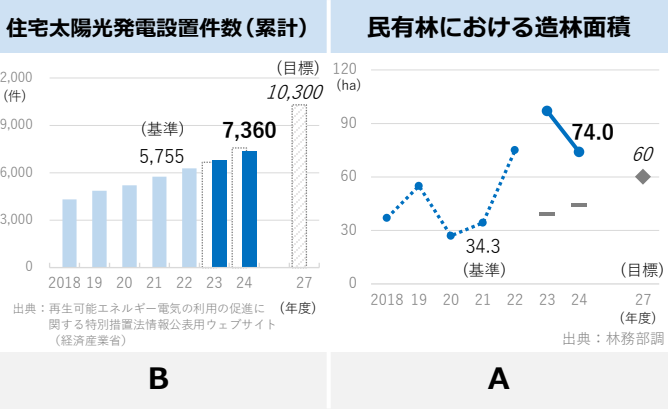


青木村
移住・交流・地域おこしフェア



防災工事を実施した農業用ため池
(上田市山田新池地区)

4 持続可能な脱炭素社会の地域づくり



【取組の成果・課題と今後の方向性】

〔持続可能な脱炭素社会に向けた取組の推進〕

- ・市町村や関係団体と連携し、温暖化対策に有効な断熱をテーマにした講演会及び内窓設置DIYワークショップを実施した。
- ・住宅太陽光発電設置件数は、県内有数の日照率の高さを背景に順調に推移している。今後も住民等が自分ごととして積極的にゼロカーボンに向けた取組を進められるよう支援を継続していく。

関連実績

※()内は前年度

断熱をテーマにした講演会参加者数
35人 (64人)

内窓設置DIYワークショップ参加者数
35人 (30人)

にぎやかな森プロジェクトに係る森林の里親支援企業数
14社 (14社)



UE森 (うえもり) 2024
～上田地域にぎやかな森づくり植樹の集い～
(青木村下横手)

- ・地域の森林認証材等の利用促進のため、市町村・企業等と連携した「にぎやかな森プロジェクト」において上田地域の林業活動がもたらす影響の調査とその見える化を図るとともに、地域企業や林業関係者等へ成果の普及啓発を行った。

- ・民有林における造林面積は、安定した木材価格の維持や県の補助制度の充実などにより増加傾向にある。不足する林業就業者の確保に努めながら、引き続き面積の増加を図っていく。